

それぞれの
俊英による
匿名座談会

DAZN^{※1}で発生した Jリーグ・ライブ動画配信の 技術問題を考察する

2017年2月26日——今季よりJリーグ全試合の放映権を獲得したPERFORM(パフォーム)^{※2}グループの動画配信サービス「DAZN」にとって、「日本でのサービス開始日」としてメモリアルな一日となるはずだったこの日、大変な視聴トラブルが発生した。「ユーザー第一主義」を掲げ、日本における動画配信を新たなステージへと導くはずだったDAZNに、何が起こったのか。動画配信事業に詳しい関係者による匿名座談会を行い、そのバックステージを推察した。(構成:高瀬徹朗・放送アナリスト、本誌ライター)

【匿名出席者】

A氏:エンタメ動画配信事業

B氏:ライブ配信事業

C氏:ライブ配信技術システム事業

D氏:放送関連事業

進行:高瀬徹朗・放送アナリスト、本誌ライター

トラブル発生!

その第一印象から

高瀬 障害が発生したのは2月26日(日)、午後16時50分前後。まず、明治安田生命J2リーグ「愛媛FC vs ツエーゲン金沢」のライブ中継がバッファリング状態となり、続けてJ1リーグ「ガンバ大阪vs ヴェンフォーレ甲府」も同様の状況になっています。さらにその日の23時前、J2リーグ全試合の見逃し配信が視聴できない状態であることが発覚します。

DAZNは翌27日付ニュースリリースで、「原因は配信映像へ方式変換するスケジューリングシステムの構築誤差が起因したと予測」と発表。障害発生から4日後(3月2日)、いわゆる「説明謝罪会見」時には原因を「エンコーディングプラットフォームの障害」に改め、J2の試

合終了直後からハイライト番組に備えて自動トリミングを開始した際、パッケージングの処理が一つに偏り過ぎたため、と説明しました。

エンタメ動画・A氏 27日付の発表時点で「スケジューリングシステムのトラブル」という説明には正直、違和感を持っていました。といっても「何かを誤魔化した」という指摘ではなく、本国の技術者と日本の広報担当の間で、言語の壁からくるニュアンスの違いが出たのかなという印象です。

個人的には、トラブル発生要因はプレイリストで、動画を届ける順番がおかしくなっていたのかなと想像していました。もっとも2日の説明を聞くと、これも少し違うのかなと思っています。

ライブ配信・B氏 僕ははずばり、ヒューマンエラーではないかと踏んでいます。まず、日本の映像サービスへのこだわりは、海外と比べてとても高い。テレビならば1秒の黒味が出ただけで放送事故扱いですので、ネット配信でも同じクオリティが求められがちです。海外はその辺が日本と比べてゆるいわけですが、加えて、今回のDAZNさんはかなり短いスパンでシステムを組んだと聞いています。

そのあたりを踏まえ、いち早く、質の高いサービ

スをユーザーに届けようとして、なんらかの人的ミスが絡んだのではないかと想像したわけです。

ライブ配信技術・C氏 いち早くユーザーにハイライトを届けたいという事ならば、試合中でもハイライト作成ができる技術も広く使われていると思いますが、今回の一連の説明からは試合終了後でないでハイライトを作成できないシステムを利用していたことになりそうです。いずれにせよ、今回のトラブルはエンコーダ・パッケージングのリソース配分が適切に用意されていなかったと見ており、経験不足、もしくは初歩的なミスではないかと考えます。また、ハードウェアエンコーダ・パッケージング利用していたとすると、その辺りのフレキシビリティの無さも影響していた可能性があります。

放送関連・D氏 まず、「通信は大変だな」というのが率直なところです。放送ならば起こり得ないミスです。そう言えるのは、放送では1試合で1本の映像というのが普通なのに対し、通信では1試合に対して複数のストリームを生成する必要があるからです。これは今後、放送事業者が通信サービスへと乗り出す際、再確認しておかなければならないテーマと感じました。

B氏 複数ストリームを用意する点について

※1 DAZN: サッカー、野球、ラグビーをはじめ130以上のスポーツ、年間6,000以上のライブ動画コンテンツを定額見放題で提供。スマホやタブレット、パソコンの他、ソニー、LG、パナソニックのスマートテレビやAmazon Fire TVやApple TV経由でテレビ端末でも視聴できる。日本では2016年8月に月額1,750円でサービスを開始し、サッカーJリーグの2017シーズンから10年間の放映権を2,100億円で取得。NTTドコモは運営会社であるパフォームグループと提携して「DAZN for docomo」をドコモ契約者に割安の月額980円で提供。

※2 PERFORMグループ: 2007年にスポーツ部門のモバイルソリューションを展開するプレミアムTVと、スポーツにおけるデジタル関連の権利を扱うインフォームグループの合併で誕生。2011年にサッカーを中心としたGoal.comを買収、続けてスポーツデータを扱うRunningBallなども買収。2016年夏にインターネット動画配信サービス「DAZN」を立ち上げ、ドイツ、スイス、オーストリアでサービスを開始し、日本でも提供を始めた。